

# 生涯にわたって 社会のいたるところで学ぶための方法序説 主体的な学習や活動につなげる ファシリテーション

中泉 理奈

提案・事業参加者の主体的な学習や活動を促し、次につなげる学習支援について考えてみましょう。

荒川区生涯学習課では、家庭教育学級に加え、地域の教育力向上や子どもや子育てを核としたつながりづくりを目的に、「地域子育て教室」を実施しています。「地域子育てサポーター養成講座」「あらかわママ企画講座（以下、「ママ企画講座」といいます。）」の3つの事業があります。「ママ企画講座」の特徴は、地域住民が講座の企画メンバーとなって、行政と共に子育てに関する学びの場づくりを行うことです。企画メンバーは、前年度の企画メンバーや家庭教育学級の参加者などへ声をかける他、チラシ配布等で公募しています。企画メンバーは主に乳幼児〜小学生の保護者です。

る講座づくりでは、地域の中で子育てをする視点で、地域の情報につなぐことが大切であることに改めて気がつきました。また、企画メンバーの声から、地域とつながって子育てしたいというニーズを感しました。この視点は、他の子育て世代を対象とした講座においても大切な視点だと感じています。

もうひとつが、「妊娠・出産を経験した私たちには、今後どのような心と身体の変化があるのか知りたい。女性のみが参加できる講座にして、情報交換や質問がしやすい講座にしたい」という声です。インターネット上にも多くの情報がありますが、情報選択の難しさや情報を得たことによる不安感を感じました。講座で他者と共に学習することで、自分自身の現状確認や今できることを探りたいという思いを知りました。話し合いを重ね、子どもに向き合うテーマの講座は保護者が参加でき、女性の心と身体に関するテーマは女性の

ないで会議を開催しました。はじめに区からママ企画講座の説明と参加者の自己紹介、テーマの検討を行います。自己紹介では、企画会に参加した思い、子どもや子育てに関する悩みや気づき、うれしかった子どもの成長、参加したい講座テーマなどを話し合いました。メンバーの半数以上が昨年度も参加していたこともあり、昨年度のことをふりかえりながら、活発な情報交換ができました。情報交換で挙げられたキーワードや講座テーマについてはホワイトボードに書き出し、2回目も講座テーマについて検討を重ねました。私は、テーマ検討の話合いで、特に印象に残っている発言が2つあります。ひとつが、「荒川区で実施するのだから、区内子どもたちの声を聞いている方のお話を伺い、子どもたちの現状や地域の子育て支援の情報も知ることができるとよいのではないか」という声です。この発言から、子育てに関する

令和5年度は、「向き合おう！子どもの本音・私の本音」というテーマで2つの講座を実施しました。（チラシ参照）

本稿では、「ママ企画講座」における学習支援の実践を通して、主体的な学習や活動を促すファシリテーションについて考えていきたいと思います。

令和5年7月2日（日）、1回目の企画会を実施しました。子育て中のメンバーが参加しやすいように、事前に連絡し、必要に応じて会場とオンラインでつ

令和5年度 荒川区生涯学習課  
あらかわママ企画講座  
参加費 無料

「更年期になるとどうなるの? / 令和時代に育児をアップデート! / いじめ、不登校はどうする?」  
向き合おう! 子どもの本音・私の本音  
乳幼児から小学生の保護者が知りたテーマを、当年度のママたちが企画しました!  
第1回はママの心と身体を学び、第2回は子どもの本音をキャッチして、家族でコミュニケーションをしながら子育てするコツを学びます。

第1回	第2回
<p>今知りたいたいママさんの心と身体</p> <p>12月2日(土) 10時~12時 (受付9時45分~)</p> <p>場所 荒川区立生涯学習センター 3階 大会議室</p> <p>講師 東京都立大学校 木村 千夏 氏</p> <p>対象 区内在住、既婚の女性</p> <p>定員 30名</p> <p>託児 定員10名程度 (1歳以上、未就学児)</p>	<p>子どもと向き合う・子どもの声を知る</p> <p>12月17日(日) 10時~12時 (受付9時45分~)</p> <p>場所 荒川区立生涯学習センター 3階 大会議室</p> <p>講師 東京都立大学校 杉山 雅宏 氏</p> <p>なにかしや 成子 野口 貴裕 氏</p> <p>対象 区内在住、在勤の主に未就学児~小学生の保護者</p> <p>定員 50名</p> <p>託児 定員10名程度 (1歳以上、未就学児)</p>

申込方法 11月1日(金) 9時より電話・メール・生涯学習課窓口にて受付

申込必着事項 ・受講希望回(第1回/第2回/両者) ・氏名・フリガナ  
・住所・電話番号・メールアドレス  
・お子さまの年齢・託児希望の有無

申込先 生涯学習課 生涯学習事業係  
TEL 03-3802-3111 (内線) 3355  
E-MAIL shakyo-shakyo@city.arakawa.tokyo.jp

「向き合おう！子どもの本音・私の本音」チラシ

みが参加できるようにしました。企画会での意見は、周知にも反映されています。チラシ表面には「更年期になるとどうなるの?」「いじめ・不登校はどうする?」というキャッチーな言葉を掲載し、裏面には、企画に込めた想いを掲載する工夫も話し合っけて決め、企画メンバーがチラシを作成しました。

私は、主体的な活動を促すファシリテーションとして、参加者の声を聴くということを大切にしています。発言の背景にある思いを理解するために、質問をすることや、話していただいたことを改めて言葉にして共通認識として確認することを意識的に行っています。聴いたことを踏まえて、情報提供や提案をし、参加者自ら、次の学習や活動を見つけていけるような学習支援を心がけています。

講座企画では、テーマの設定と合わせて講師候補の提案を、企画メンバーと区職員で行います。講師交渉は社会教育指導員

が行い、講師打ち合わせには、私も参加しました。

講師に、企画会の様子やテーマ設定の経緯を説明し、参加者が同士が交流できる話し合い学習を行いたいというお願いもしました。企画会では、講座に参加された方と知り合いたい、グループで話し合い、考える機会を作りたいという希望があったからです。講師の皆様は、この講座の趣旨についてご理解・ご協力いただき、学びの場をつくることができました。

当日の運営は、講座の受付や進行役なども企画メンバーが担いました。無理なく、できる範囲で役割分担をお願いし、体調不良などでお休みとなった場合でも他の方が代わられるようにしました。進行役のメンバーは、事前に社会教育指導員と進行台本をメールで確認して当日の進行に臨みました。2つの講座は定員を超えた申込みがあり、当日を迎えることができました。

講座の実施と参加者の声から

各回、講座前に企画メンバーと講師で打合せを行いました。(写真1) 講座のはじめに企画メンバーが企画への想いを伝え、講師の紹介をしました。(写真2) 各講師の講義では、企画会で挙げられた質問にもご対応いただきました。また、グループワークでは、ママ企画メンバーが、進行役となり情報交換をしました。企画メンバーが同じグループの方を今後の企画メンバーに誘う場面もありました。(写真3) 講座終了後、企画会の参加に



(写真1) 講座前、講師との打合せ

ついて職員に質問した方や、アンケートに企画メンバーに参加したいと書いてくださった方がいました。企画会や企画メンバーに興味を持たれた方がいたのは、講座内容が子育て中の方が知りたい内容であったからだと考えます。知りたいことを子育てしている方が企画し、運営していることで、講座づくりのイメージが思い描けたのではないかと考えます。また、子育てしながら地域で活動する企画メンバーが楽しく講座を運営し



(写真2) 司会進行・企画の想いを伝える

ていたことも、子育て期の新たなロールモデルとなったのではないのでしょうか。

講座実施後、企画メンバーとふりかえりを行いました。今回の講座が、企画会で話し合った内容が反映できていたことや、講座の参加者から直接感想を伺い、好評であったことなどが共有されました。また改善点として、講座終了後に会場を少し長めに開放して、参加者同士がつながる時間を持てるとよいのではないかとという意見がありました。私はこの意見から、企画メ



(写真3) グループワークの様子

ンバーがこの講座の目的のひとつである「保護者同士のつながりづくり」を理解して発言してくださったのだと感じました。今後の会場予約の際、時間を検討することや、講座後のつながる場のつくり方を企画メンバーと相談していききたいと思っています。

今後に向けて、講座参加者の中に企画会に興味がある方がいたので、早めに声をかけて次につなげたいという意見が数名からありました。次年度の企画メンバー増員に向け、講座参加者で企画会の参加希望者と現企画メンバーで、次年度に向け集まる機会の調整をしたいと考えました。実行可能な日程や会場の空き状況を確認し、上司に報告、相談し、企画会の進め方を検討しました。

講座の参加者に呼びかけると10名の希望者がいました。見学を可能としたことで、参加を検討している方も企画会に参加を希望してくれたのだと思います。まず、事業の趣旨や企画会につ

いて知ってもらい、参加するかどうかを決めることができるように、選択の幅を広げて待つことは、主体性を促す学習支援で私が心がけていることです。

### 次年度の講座企画会につなげる

令和6年1月20日(土)に、次年度に向けた企画会を実施することができました。はじめに区からママ企画講座の趣旨につ

(参照:資料1) 自己紹介をする前に私から次の二点についてご協力をお願いをしました。

「二つめは、参加された皆さんと一緒にこの場を安心して話しかける場にしたかったので、この場で話したことは、この場から持ち出さないようにしましょう。

二つめは、今日は他の方の話を聞くだけの参加にしたいと

## 荒川区 地域子育て教室「あらかわママ企画講座」について

あらかわママ企画講座は、子育て中のママたちが作る、子育てのための講座です。講座の企画を、実際に地域で子育てをするママたちを交えて行うことで、より当事者のニーズに沿った内容での開催を目指すとともに、交流・ネットワークづくりのきっかけとして、地域の中で子どもを育てる活動への支援を進めることを目的としています。

**Q企画会**  
全4回を目安に企画会(無料昼現付き)を行い、子育て中での発見や悩みなどを共有しながら、講座に参加しやすい時期や知りたいテーマ、お話を聞いてみたい講師など、意見を出し合い、企画メンバーのみなさんが一層知りたいことを講座にできるような企画します。

**Q講師打合せ**  
みなさんの悩みや講座への想いをどのように反映させていくのか講師に伝え、講座をつくりあげていきます。

**Q講座**  
実際に受講者の一人として、知りたかったアレコレを学ぶことができます! 受付・司会進行や、グループワークのファシリテーション、チラシ作成など、企画メンバーそれぞれの得意分野で役割を分担して講座運営を行います。

- 007 寝になってイライラもやしませんか?
- 010 自分の強みで変わる自分らしい子育て講座
- 011 一瞬のちからをめぐって子育てに活かす〜らくらく、お風呂お片づけ
- 012 一子産んで子育てするためには、今後の育児について幼児と一緒に学ぶ・遊ぶ防災講座 (動画収録)
- 013 子どもに向けた記念品 (動画収録)
- 014 親も子どもも安心して過ごせるための講座 (第1回) 子どもを守るためにできること (第2回) 子どもの可能性を伸ばす、いそいそと子育てするためのポイントのつくり
- 015 向き合おう! 子どもの本音・私の本音 (第1回) 今知りたい! お母さんの心と身体 (第2回) 子どもと向き合う・子どもの声を知る



資料1 ママ企画講座の趣旨

いうこともあるかと思っています。その時は、遠慮なく次の方に順番を回していただいで大丈夫です。みなさま、よろしいでしょうか」

この場を一緒につくる仲間と知り合うためにお互いの情報を共有することが必要となりますが、あくまでも参加されたお一人お一人のペースやタイミングを大切にしたいと思っています。これから時間をかけて互いに知り合いながら、子育て中に知りたいことが学べる講座づくりに新たな企画メンバーと挑んでいきたいと思っています。

本稿で実践をふりかえり、主体的な活動を促すファシリテーションとして次のことを意識的に実行していることに改めて気がつきました。

- ①丁寧な聴く。
- ②参加の仕方について選択肢をつくり、提案する。
- ③安心して話せる環境をつくる。

本稿をきっかけに、読者の皆様と主体的な活動を促すファシリテーションについて情報交換をして、学習支援者として意識することや言葉の引き出しを増やしていきたいです。私は、実践やふりかえりを活かし、これからも新たな学びや活動へつなげていく学習支援を心がけ、学びの循環による地域づくりを目指していきたいと思っています。

中泉 理奈 荒川区地域文化スポーツ部生涯学習課社会教育主事